

株式会社J-Lab キャリアアップに資する教育訓練計画

●は必須。○は選択

作成:2017年7月3日

訓練名	内容	時間H	対象	担当	1年目	2年目	3年目	4年目	狙い
ビジネスマナー	1 ビジネスマナー	8	全従業員	社内教育	●				社会人としてのマナーを習得、円滑なコミュニケーションが取れるよう育成。
	2 仕事の進め方研修	4	新人(1年目)	外部教育機関	●	○			仕事とは何かを改めて捉え直した上で、目的に沿った活動を効率的に進める上で不可欠な「PDCAサイクル」について理解を深める
	3 ロジカルシンキング研修／ティーチング研修	4	新人(1年目)	外部教育機関	●	○			論理的思考で相手に伝えたい内容を的確に伝える能力を向上させる
電気電子教育	1 電気電子回路の基礎（基礎確認テスト実施）	10	技術職	社内教育	●				電気電子回路を取り扱う者として最低限の知識を習得する
	2 基本的な計測機器（オシロスコープ）の取扱い方法	4	技術職	座学・実技による社内教育	●				電気電子回路を測定するにあたり基本的な計測機器の操作方法を習得する
	3 品質管理者としての心得	2	技術職	社内教育 安全衛生MTにて	●	○	○	○	品質管理者として基本的な考え方を養成する
	4 半田作業訓練	2	技術職	座学・実技による社内教育	○		○		はんだ作業の基本的なレベルに達するよう養成
	5 圧着作業訓練	2	技術職	座学・実技による社内教育	○		○		圧着作業の基本的な作業習得と良否判定ができるレベルに達するよう養成
	6 ねじ締めに関する教育	1	技術職	座学による社内教育	○		○		ねじ締め付けに関する知識を習得する
	7 高圧・特別高圧電気取扱者労働安全衛生特別教育	15	技術職	外部教育機関		○			高圧作業に従事するにあたり法定資格
	8 高圧作業教育訓練	4	技術職	実技による社内教育 (実技試験)		○	○	○	高圧作業従事者においては、年1回高圧作業の実務訓練(試験)を課し安全管理を徹底することが目的
	9 電子回路(アナログ・デジタル)設計者養成教育	8	技術職	外部教育機関		●	●	●	電子回路設計の要素技術を習得することにより設計者へのステップアップを目指す。レベルに応じた電気電子関係の設計内容を習得。
	10 品質管理検定／JSTQB等の品質管理資格取得	4	技術職	社内教育		○	○	○	品質管理技術者としての能力向上が目的。
リーダー研修／マネジメント研修	1 リーダーシップ研修／新任管理者研修(初級)	8	入社5年前後の管理候補者	外部教育機関			○	●	現場におけるはじめて管理者となるべく担当者の管理能力の向上を図る
	2 管理者研修(中級)／コーチング研修・メンタルヘルス研修	8	入社5年前後の管理者	外部教育機関				○	現場における中堅管理者としての管理能力の向上を図る
	3 職長教育	12	入社3年～5年程度のリーダー候補者	労働基準協会等で受講			○	○	安全衛生の基本的な理解を習得する
	4 職長・安全衛生責任者	14	入社5年前後の管理候補者	労働基準協会等で受講				○	-
	5 安全衛生推進者養成講習	10	入社5年前後の管理候補者	労働基準協会等で受講				○	-
	6 安全管理者選任時研修	9	入社5年前後の管理候補者	労働基準協会等で受講				○	-
情報セキュリティ／コンプライアンス教育	1 コンプライアンスについて ※1年目7時間 2年目以降2時間	2～7	全従業員	社内教育または外部教育機関	●	●	●	●	個人情報保護や情報セキュリティ、ソーシャルネットワークの取り扱いについての理解を深める。
	2 情報セキュリティ概要説明／遵守事項説明 ※1年目7時間 2年目以降2時間	2～7		社内教育または外部教育機関	●	●	●	●	情報セキュリティの重要性および流出した場合の損害、従業員として遵守すべき事項の内容についての理解を深める。
	3 企業機密を守る重要性について	1		社内教育	●	●	●	●	文書、データ等の取扱いに関する注意および管理方法についての内容を理解する。
	4 情報セキュリティ関係の簡易テスト	1		社内教育	●	●	●	●	セキュリティの重要性を理解できたか確認